

## 会議の内容

1	会 議 名	平成25年度第4回習志野市福祉問題審議会
2	開 催 日 時	平成25年12月18日（水） 午後1時30分から2時30分
3	開 催 場 所	仮庁舎3階 大会議室
4	出 席 者	<p>審議会委員：海寶委員（会長）、堀部委員（副会長）、田所委員、平野委員、高橋委員、山田委員、唐澤委員、池田委員、加藤委員</p> <p>市 側： 保健福祉部長 眞殿          こども部長 若林          保健福祉部次長 松岡          こども部次長 井澤          保健福祉調整課長 上原          こども政策課主幹 小澤</p> <p style="text-align: right;">他</p> <p>傍聴者：なし</p>
5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>【議題】</p> <p>(1) 諮問事項</p> <p style="text-align: center;">習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画の策定について</p> <p style="text-align: right;">（こども部）</p> <p>(2) 協議事項</p> <p style="text-align: center;">習志野市地域福祉計画に係るパブリックコメント案に ついて</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部）</p> <p>(3) その他</p>

5	<p style="text-align: center;">議 題 及 び 会 議 の 概 要</p>	<p>【会議の概要】</p> <p>1 市長挨拶</p> <p>皆さんこんにちは。本日は大変お忙しい中を平成25年度第4回福祉問題審議会に出席いただきまして誠にありがとうございます。年末で、本当に大変お忙しいことと思います。</p> <p>本日はこの冬一番の寒さではないのかと思いますが、最近ではインフルエンザも非常に流行っているようでございまして、そういうさなかではございますが、本当にありがとうございます。</p> <p>今日の福祉問題審議会の内容でございますが、諮問事項1件と協議事項1件でございます。諮問事項につきましては、こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画の策定についてでございます。この諮問事項につきましては、パブリックコメント案を協議事項として、第2回福祉問題審議会において議題に上げさせていただいております。その後実施したパブリックコメントの結果を受けて作成した再編第2期計画の最終策定案について諮問させていただくものでございます。</p> <p>次に協議事項は、習志野市地域福祉計画に係るパブリックコメント案についてでございます。習志野市地域福祉計画につきましては、第1回および第3回とこの会議におきまして、協議事項として議題に挙げさせていただきまして、委員の皆様から頂きました御意見等をふまえ、パブリックコメントを実施したいと思っております。</p> <p>いずれにいたしましても、事務局から詳しく説明をさせていただきますが、パブリックコメントの方ですが、だいたい皆さんにパブリックコメントを出すのですが、そこで上がってくる意見というのは相対的に言うと少ないわけございまして、やはりこの会議でいろいろな角度からどんどん御意見を賜ることが一番の施策の実効性を確保するということになってまいります。どうぞ皆様におかれましては引き続き専門性を発揮していただいて、この二つの案をしっかりと見ていただければと思う次第であります。</p> <p>最後に、この一年も大変皆様にはお世話になりました。今年最後の会ということになります。平成26年はいよいよ習志野市制施行60周年ということでございまして、大きな節目の年ということになります。これからもどうぞ引き続きよろしく願いを申し上げます。御挨拶に代えさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>【諮問書の交付】</p> <p>習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画の策定について、習志野市福祉問題審議会条例第2条の規定により貴会の意見を求める。</p> <p>市長退席</p>
---	--	--

5	<p style="text-align: center;">議 題 及 び 会 議 の 概 要</p>	<p>海寶会長 皆さんこんにちは。</p> <p>改めまして、この年末のお忙しい中、第4回福祉問題審議会に御出席いただきまして誠にありがとうございます。本年も残り少なくなりましたけれども、今日は先ほど説明がありましたとおりの内容につきまして、審議をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この、習志野市福祉問題審議会におきましては、市政運営の透明性の確保という観点から、会議の公開が決定されております。本日傍聴の方はいらっしゃらないということですので、このまま会議を進めさせていただきます。</p> <p>それでは、ただいまより平成25年度第4回習志野市福祉問題審議会の議事に入ります。本日は伊藤委員から欠席の連絡をいただいておりますので、9名の出席となります。本審議会は10名の委員で構成されておりますので、過半数の出席があれば会議は成立いたします。従いまして、本日の会議は成立ということで開催をさせていただきます。</p> <p>(1) 諮問事項 習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画の策定について</p> <p>こども部長 こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画案につきましては、前回審議会で協議をしていただき、10月28日から11月28日までパブリックコメントを実施いたしました。その結果8人2団体の方から217件の御意見・御要望をいただいたという経過でございます。その内容等を踏まえまして最終案を作りましたので、御審議いただきたくお願い申し上げます。</p> <p>小澤こども部主幹</p> <p>※資料に基づき説明</p> <p>海寶会長 ありがとうございました。ただいま事務局の方から御説明のありましたとおり、意見などの主な内容については、皆様方に御説明があったとおりでございます。追加の訂正箇所については、斜線がついたところを新たに加えたということでございます。</p> <p>相対的にみますと、大きな基本的なことは変わらず、多少表現の内容の訂正、それから用語の多少の変更をして、各園のイメージをはっきりさせるということで御説明をいただいたところです。この諮問の内容については、協議事項として前の福祉問題審議会において皆様方には既にお話をされているということでございまして、その内容を踏まえたくて何か御質問がございましたら挙手をお願いいたします。</p>
---	--	--

5	<p style="text-align: center;">議 題</p> <p style="text-align: center;">及 び</p> <p style="text-align: center;">会 議 の 概 要</p>	<p>整理しますと、私立の場合は、「幼保園」という言葉が新しく作られた名前でございます、市立の場合はこども園、私立の場合は幼保園、幼稚園、保育所というようにはっきりと区別したということでございます。</p> <p>その他、細かいパブリックコメントについては、このとおり皆さんのお考えのことと思いますので、その点については行政としても十分に考慮しながら進めていくという説明でございましたので、統括的なものについては、出来るだけ反映していただいたということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>何かございますか。</p> <p>A 委員</p> <p>1 枚の資料の 3 番、意見等の件数が 2 1 7 件とありますが、ホチキスで止めてある資料ですと 1 5 7 件となっているのは選んで載せているのでしょうか。</p> <p>小澤こども部主幹</p> <p>最終的に一つ一つの御意見に対して、市としての考え方をお示しして参りたいと思っております。</p> <p>このホチキス止めの資料については、同じような意見をまとめさせていただいておりますので、2 1 7 件の内訳として 1 5 7 件ということでございます。</p> <p>A 委員</p> <p>もう一つ質問ですが、前回、前々回の福祉問題審議会でもこども園化するにあたって、登園の距離の問題のことが議論されたと思いますが、このパブリックコメントを見ますと、ナンバー 1、項目全般の御意見等の要旨の下から 2 行目に「未就学児が容易に移動できる距離及び徒歩での移動時間はどのくらいと考えているのか。」という質問、あるいは、ナンバー 8、項目全般の 2 行目に「送迎等のサービスにより活性化されるとよいと思う。」というように、委員が質問したものと同じような質問があり、私も質問したのですが、質問に対して、この計画の中には汲み入れないのでしょうか。</p> <p>全般でこれだけ意見があるのですが、理解をして配置をするのだけれど、すべてを汲み入れたら計画が壊れてしまいますから、その辺りをどのように考えているのでしょうか。</p> <p>小澤こども部主幹</p> <p>まず、距離の考え方ですが、今、ちようど子ども・子育て支援事業計画策定にあたりまして、ニーズ調査を実施させていただいております。この結果として、大体 2 キロくらいまでであれば、保育施設等に通うことが可能という、実際の就学前のお子さんを持つ保護者の皆さんからご意見をいただいております。</p> <p>習志野市が考えております、こども園の整備自体は、7 つの中学校区の中に整備をいたしますと、大体 2 キロ圏内でカバーできるということであります。</p>
---	--	---

5	<p>議 題</p> <p>及 び</p> <p>会 議 の 概 要</p>	<p>現在の公立幼稚園に最長で通われているお子さんが、大体2キロということでもありますので、市域がコンパクトということもございますので、大体施設としては通うことは可能な状況であるかと思えます。</p> <p>一方、保育所については、こども園は7つですが、保育所自体は各地域にたくさん整備をさせていただくということと、この2期計画でもそうですが、この2期計画に並行して、民間誘致の計画を進めておりますので、そういった面では2キロではなく、もう少しそれぞれのご家庭から通いやすい環境の整備というものは整っていくと考えておりますので、今、A委員がおっしゃったことについて、具体的な記載がないのですが、今日の御意見として受け止めたいと思えます。</p> <p>A委員 2キロと言いますが、健康な成人が歩く距離が大体4キロで1時間ですから、恐らく3歳児あるいは4歳児で、お母さんと手をつないで歩いたり、あるいは雨の日も風の日もあるわけですから、2キロというのは理解できない距離です。そして、恐らく保護者から意見が出るのではないのでしょうか。</p> <p>その辺の説明をパブリックコメントした方に直接理解を得るのか、それとも市が答えてないということはないと思えますが、その辺はどうなのでしょう。</p> <p>小澤こども部主幹 パブリックコメントについての回答は、この計画策定とあわせてご提示をしてご理解いただきたいと思っています。</p> <p>A委員 個別に答えるということでしょうか。</p> <p>小澤こども部主幹 個別という手法は、お名前やご住所がなくパブリックコメントの御意見をいただいておりますので、ホームページ上のアップですとか、各施設への配布、各施設に置いて閲覧していただく等々の手法でご確認いただくということになるかと思えます。</p> <p>A委員 これだけの意見が出されているので、市が対応してくれれば市民は喜ぶでしょうが、意見を出したが一切連絡がなかったり、改善がなかったとすると、かえって不満が増してしまうのではないかとこの所を危惧しているの、意見を言わせていただきました。</p> <p>小澤こども部主幹 これまでの経過の中で、説明会でもこのご意見はいただいております。ここでも、今日ご説明した内容のことでご説明しておりますので、ご理解いただけているかと思えますが、今後も努力してまい</p>
---	--	--

5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>りたいと思います。</p> <p><b>B委員</b> 24ページの所ですが、幼保園ができるということで、今ご説明をいただきましたが、幼保園というのは、通常こども園と言っていて、その中にはこどもセンターが含まれているのですが、幼保園にはそれはないという理解でよろしいでしょうか。</p> <p><b>小澤こども部主幹</b> こちらの区分は、習志野市が整備するこども園というのは、幼稚園、保育所機能、そしてこどもセンターを必ず併設するということで、在宅家庭を支援する総合施設として考えております。 幼保園というのは、あくまでも幼稚園機能に保育所機能を加えた施設ということで、この区分をしたいということから、幼保園という名称にしております。</p> <p><b>若林こども部長</b> 補足させていただきますと、全国的にはこども園という名称がこれから定着していくのだと思います。 そのような意味で、パブリックコメント案の中では、こども園という表現を使ったのですが、今、B委員からのお話があったように、習志野市は、独自にこども園という言葉を使って、保育所機能、幼稚園機能、こどもセンターという機能を付けてきたという歴史があります。そうすると、習志野市と同じようにこども園という言葉を使った時に、誤解を受けた市民の方が多くいらっしゃったということで、本来は、習志野市は、こども園に関しては公立でやると言っていたよね、という疑問があったこと、こども園にはこどもセンターが併設だったよね、という疑問を持たれた方がいらっしゃったので、そうすると、こども園という表現を同じように作ってしまうと、やはり誤解を生むだろうということの中で、今回名称を変えさせていただいた経過がございます。</p> <p><b>B委員</b> それにちなんで、7つのこども園はこれからも続いていくのですね。はい、ありがとうございます。</p> <p>23ページの所でもう一つ質問をさせていただきたいのですが、菊田保育所が私立化されて、定員が126人、そして、下の(3)の本大久保保育所が、私立化されて本大久保保育園という形で定員が165人ということですが、今の枠の人数から比較すると、人数的に少なくなっているように思いますが、これは、機能的に私立化していくためには少なくした方がいいという考えなのか、今、保育所を待っている方もいらっしゃる中で、人数が減るのはどうなのかと思いました。</p> <p><b>小澤こども部主幹</b> まず、菊田保育所でございますが、こちらは老朽化対策がまず第</p>
---	-------------------------	--

5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>一です。こちらの対応ということで、谷津第二保育所用地という市有地に建てていただいて、子ども達に移っていただくという手法で私立化を考えました。</p> <p>敷地の広さは、約2000平方メートル弱でして、こういった敷地の広さから考えると、県の旧の基準でいきますと126名程度、ただし、先程ご説明しましたように、新たな県の基準に照らし合わせると150人程度はお受けできるということでもあります。これは物理的な問題で126人もしくは150人というご提案になっております。この不足分については、これは保護者にとってとても重要な部分ですので、ここの対策はきちんと市において対応して参りたいと考えております。</p> <p>そして、本大久保の方は、現状よりも定員は多い状況です。</p> <p>今、本大久保第二保育所というのは乳児施設、本大久保保育所が幼児施設となっていますが、こちらを合わせて若干増やした形でご提案をしている状態です。</p> <p><b>B委員</b></p> <p>今の2つ目の本大久保のところですが、7ページの2つの保育所を足した数をみますと、人数が165人の方が若干少なくなっていると思うので、質問させていただきました。</p> <p>それと、今のお答えのようなことで、この人数でなければということであれば納得するのですが、保育所を待っているということがありますので、やはりどこかで埋めていただけるようにしていただきたいと思います。例えば、横浜市は待機児童が0人だったのが231人も増えているということがありますので、そういったことを踏まえると、人数が増えた時に対応できる方法もあるといいと思います。</p> <p><b>小澤こども部主幹</b></p> <p>7ページをお開きいただくと、本大久保保育所の定員が90人、本大久保第二保育所が50人で、合わせて140人です。</p> <p>定員としてご提案の165人で、増やさせていただいておりますので、何とか対応できるのかなと思います。</p> <p>また、本大久保第二保育所につきましては、高橋委員がおっしゃったように、保育需要として3歳未満児ほとんどということですので、この整備の段階では本大久保第二保育所の活用も再度検討して参りたいと思います。</p> <p><b>若林こども部長</b></p> <p>もう1点だけ補足説明させていただきますと、菊田保育所は確かに谷津第二にもっていくことによって、敷地の面積の関係でこれまでの基準で言えば126人、新しい県の基準で言えば150人程度で、現状受入体制が整わないということの中で、きちんと対応していきたいという内容を記載させていただいているのが23ページです。</p>
---	-------------------------	---

5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>26ページの方に市有地の活用ということの中で、一番下の行で、菊田保育所の跡地には新たに167人程度の認可保育所を誘致するということとなりますので、一時的には確かに谷津第二に移ることで定員が落ちますが、最終的には菊田保育所に再度認可保育所を誘致するというので、この地域に関しては待機児童対策が増えるということと考えております。</p> <p><b>C委員</b> 資料を読ませていただいて、こども園に実際通われている方は、かなり満足度が高いというアンケート結果が出ていると思うのですが、パブリックコメントを見ますと、メリットデメリットをきちんと説明していただきたいとか、こども園の今後の予定を開示してほしいなど書かれていると思うのですが、その辺りは恐らく市側としては、色々な状況を出しているのだと思いますが、一般のお母さん達保護者にとっては、こども園が今どういう状況なのかということが分かっていない方が結構いらっしゃるようなイメージを持ちます。</p> <p>その辺で、こども園にすることによって、すごくメリットがあるということをもっとみんなに知らせた方がいいのではないかと思います。資料25ページですが、谷津小学校の対応が気になってまして、奏の杜が出来てかなり子どもが増えていると思いますが、ここに「一時移転等もありうる」と追加で書いてありますが、一時移転をどこにして、どのように幼稚園を持っていくつもりでいらっしゃるのかをお聞きしたいと思いました。</p> <p>もう一つ、資料の32ページの一番下の所に、子どものピークが平成29年度でそれ以降は減少に転じるとあり、これは見込みなのかもしれませんが、今まで堀部先生がずっとおっしゃっていたように、ここまできちんと施設の整備をしていって、子どもの数が頭打ちになった時に、施設をどのようにしていくのかということを考えていると思いますが、きちんと考えておかないと、作るだけ作りっぱなしというのは大変なことになるのではないかと思います。</p> <p><b>若林こども部長</b> お答えいたします。今回このような形でパブリックコメントで217件、非常に今の保育所がいいというご意見をいただいた中で、中には賛同いただけない意見が多かったということは、逆に言うところこども園の良さ、私立幼稚園の良さ、検証、特に大きな問題がないということについては、引き続き検証しながら、市民の皆様、保護者の皆さまにお示しをし、今後も情報提供に努めていかなければならないと考えております。</p> <p>2点目の谷津小学校の児童対応については、教育委員会の方で対応方法については、今年度末までに決めたいということで作業をしているところでございます。</p> <p>12月にも説明会を行っていますが、基本的には説明会の中では、谷津幼稚園については原則移転はさせない、通学区域も変更しない、奏の杜地区については、通学路区域を変更しない形のなかで、</p>
---	-------------------------	--



5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>ご提案して意見をいただいております、その意見をもとに教育委員会として最終案を固めていくこととなっております。</p> <p>そういう意味では、今の進捗状況から言えば、原則として谷津幼稚園については、移転をしないという形の中で最終案がまとまりつつあるということです。経過の中で、今まで谷津幼稚園を移転するという案が市としてはありましたが、その時の対応としては、一応向山幼稚園ということで教育委員会としては考えていたという経過がございます。</p> <p>最後の児童数の減少については、我々も施設整備をしていく中で、最大限のものに対して、逆に認可保育所を整備するというのであれば、施設が余るということは状況として確認できますので、今後は、施設整備に関しては認可保育所を使う方法、小規模保育のような施設で対応することによって、設置しやすく逆に言うと撤退もしやすいそういった施設等も絡めて需要に対して対応していかなければならないというように考えております。</p> <p><b>B委員</b> 今のでよくわかったのですが、谷津幼稚園を移転しないで谷津小学校を全部受け入れて、校庭や教室などは大丈夫なのでしょうか。</p> <p><b>若林こども部長</b> それについては、教育委員会で考えておりますが、基本的に2つの案がありますが、グラウンドの中で仮設の校舎、プレハブで対応し、グラウンドについては一時期使えなくなりますが、奏の杜地区にある近隣公園を一時期借用するような形の中で、谷津小学校の中で仮設のプレハブを作る、また、校舎自体の建て替えをするということの中で、学級増に対応していこうという形で市民の皆さまと意見交換をしている状況でございます。</p> <p><b>海寶会長</b> その他、何かございますか。 それでは、今、各質問がございましたが、それについては十分考慮して運営をしていただくということで、文章にしなくても特によろしいでしょうか。内容については十分に検討をしながら進めていくという解釈でよろしいでしょうか。 よろしいですね。 それでは、今いただきましたご意見はごもったもなことで、パブリックコメントの意見も十分に理解をしたうえで、前向きに市民の保育あるいは幼稚園事業について取り進めるということでございますので、当審議会としては、この諮問内容のとおり答申してよろしいでしょうか。いかがでしょうか。</p> <p>挙手をお願いします。(挙手全員)</p> <p>今、言われた意見などを十分に考慮して、実際の運営にあたっていただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
---	-------------------------	---

議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>それでは、諮問事項としてはこのとおり答申をするということにいたします。</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 協議事項 習志野市地域福祉計画に係るパブリックコメント案について</p> <p>上原保健福祉調整課長</p> <p>※資料に基づき説明</p> <p>海寶会長 この地域福祉計画については、前回皆さまからご意見を承りまして、一部その意見に沿って修正してございます。 その他に何か御意見がありましたらお願いします。 今の予定ですと、2月の下旬にパブリックコメントの結果を踏まえて、諮問案を図るということですね。</p> <p>B委員 今、御説明していただきました、基本目標2の第2節「地域の見守りと子どもの健全育成」のところでございますが、60ページに自助、共助とあるのですが、その共助の中の「福祉団体・事業者の取組み」の3行目に「民生委員児童委員や高齢者相談員は、ひとり暮らしの高齢者、障がい者等見守りが必要な人を訪問し、支えます。」とありますが、この部分では、子どもの健全育成も触れているわりには子どもの事が載っていないと思うのですがいかがでしょうか。</p> <p>上原保健福祉調整課長 その部分を加えて記載したいと思います。失礼いたしました。</p> <p>海寶会長 文章の内容については、次の福祉問題審議会の時に説明していただくようお願いできますか。</p> <p>上原保健福祉調整課長 加えた状態でパブリックコメントにかけたいと思います。</p> <p>海寶会長 他に何かございますか。 皆さん、前回の時に色々御指摘いただきましたから、その内容について、修正しているということですので、それに沿った内容になっていると思います。 あと何か加筆するところがあればお願いしたいと思います。 特になければ、このままでパブリックコメントにかけていただくということよろしいでしょうか。</p>
-------------------------	--

5	議 題 及 び 会 議 の 概 要	<p>では、そういうことで御承認いただいたということで、よろしくお願ひします。</p> <p>その他、何かございますか。</p> <p>(3) その他</p> <p>海寶会長 私の方からお願いしたいのは、先ほどの説明の中で、奏の杜の問題の対応について、今日は教育委員会のメンバーが来ておりませんので、次回の時に報告の形で経過説明をしていただきたいと思います。その辺りの様子がいぶ変わってきていると思います。</p> <p>教育委員会でないと分かりませんし、考え方、対応の仕方がいぶ変わってきていると思いますので、ぜひ教育委員会の方に報告をしていただきたいと思います。</p> <p>基本的には、奏の杜は谷津の地域内で全部対応するということになったようですが、前に説明のあった、向山小学校にというのはなくなったということですね。</p> <p>若林こども部長 最終的には、次回教育委員会からご説明しますが、今の状況だけ私の方からお伝えいたします。</p> <p>現在、最新の状況の中では、12月に市民説明会意見交換会を行っています。その中の案としては、まず、先ほど言いましたように、原則谷津幼稚園は移転をさせない、通学区域も谷津奏の杜については変更しないという形の中で、2つの案を提示しています。</p> <p>1つは、全て今の谷津小学校のグラウンドの中にプレハブを作って学級増に対応していき、ある年数の段階で谷津小学校の改築をする、今の既存の校舎を校庭の反対側に新しく作る。段々人数が減ってきたら仮設の校舎を壊していくという対応を考えています。</p> <p>最終的にはプレハブと校舎がありますので、その段階では、グラウンドが使えなくなる状況が発生しますので、近くの近隣公園で一時グラウンドをお借りするという形の中で、運動会等を対応していくというのが1つの案です。</p> <p>もう1つの案は、前も出ていましたが、谷津小学校の5年生6年生を分離する形の中で、通学区域は変えませんが、谷津小学校の1年生から4年生までをプレハブ対応とした中で、5年生6年生については、第一中学校の中に仮設を作り、分離をした中で対応していくという2つの案で、市民の意見をお聞きしているという形になっています。</p> <p>いずれにしても、通学区域を変更しないということの中で、教育委員会としては対応していくということで、今後、通学区域審議会からご意見を聞いた中で、教育委員会としては2月3月にかけて最終案を決定したいという形で動いている状況です。</p> <p>海寶会長 こういふことでございますので、もう少し具体的に分かればいいと思いますので、その辺を検討してください。</p>
---	-------------------------	---

5	<p style="text-align: center;">議 題 及 び 会 議 の 概 要</p>	<p>その他、何かございますか。</p> <p><b>B委員</b> 先日、こども園の話が子ども・子育て会議で出ていましたが、袖ヶ浦こども園の工事がかなり遅れているのかなと周りの人が心配しています。土日とも工事に入っているということですが、このことについては近隣から苦情などはないでしょうか。 遅れてはいるけど間に合うということが分かれば、安心すると思いますので、その辺はいかがでしょうか。</p> <p><b>若林こども部長</b> 袖ヶ浦こども園につきましては、工事の工程が遅れているという報告を受けています。現在、業者の方から新たな工程について提出していただいて、協議をするという段階です。そういう意味では、間に合うことになるのか、若干遅れてしまうのかは、早急に市としても業者と協議をした中で、保護者の方、地域の方々にお知らせしたいと思います。 工程については遅れているのは事実ですので、実際にどのくらい遅れているのか、取り返しができるのか、早急に市の方で協議をして、決まり次第市民の皆様にお知らせしていきたいと考えております。</p> <p><b>海寶会長</b> よろしいですか。その他、ございますか。 まだ、2月のスケジュールは決まっていないと思いますので、また決まり次第お知らせしたいと思います。よろしく御審議のほどお願いいたします。 その他、特になければ、本日の議事はすべて終了いたしましたので、閉会とさせていただきます。 委員の皆様方には大変お疲れ様でございました。 ありがとうございました。</p>
6	<p>問い合わせ先</p>	<p>所 管 課 名：保健福祉調整課（仮庁舎3階（京成津田沼駅前ビル）） 電 話 番 号：047（453）9243 F A X 番 号：047（453）9309</p>